

第22回中日理論言語学研究会

語彙変化のメカニズム —漢語方言の例から—

岩田 礼(金沢大学)

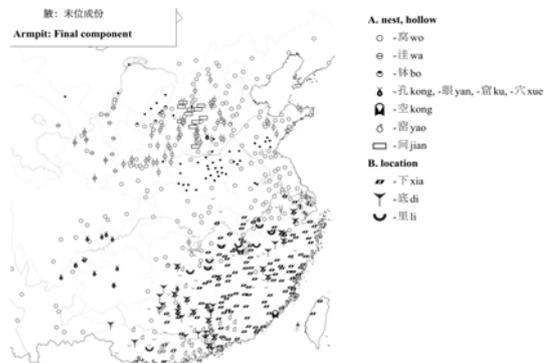
《汉语方言解释地图》

- ・ 岩田礼編，白帝社，2009年12月出版，A4版，精装，341頁，9,000円(税込)
- ・ 執筆者: 岩田 礼, 村上 之伸, 木津佑子, 松江崇, 中川 裕三, 三木夏華, 中西 裕樹, 植屋 高史, 橋本貴子, 鈴木 史己, 八木 堅二, 黄曉東, 林智
- ・ PHDプロジェクト
<http://nphd.lt.kanazawa-u.ac.jp/> (構築中)

成果, 発見

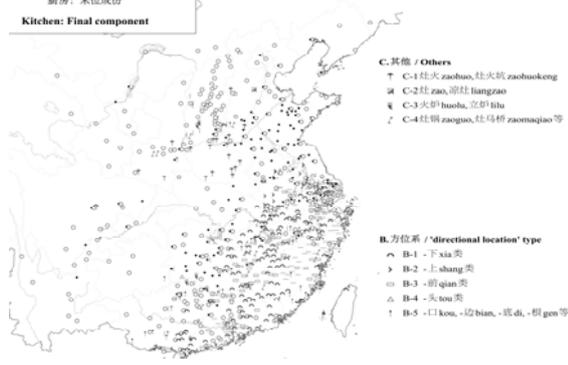
1. 漢語方言の地域差
2. 歴史言語学への貢献
 - (1) 語史の再構
 - (2) 語源探求
3. 理論言語学とのIntegration
言語記号の恣意性: 牽引現象
話し手による事物の認知形態: 民間語源
音声的要因

1. 地域差: “腋”の方言地図:



“腋下”、“灶下”の語構造

厨房: 末位成份
Kitchen: Final component



2. 言語記号の恣意性 類音牽引: 胳膊窝 > 胳膊肘



第二成份 / 2nd component: 肘 zhou (elbow) 间->肩 意味も
含"肩" / containing "jian" (shoulder) 関与?

3. 类推牽引: 胳膊(窝) > 胳膊[la]肢 > 胳膊老肢



南北のk-1系語形は同源か？

1. 北方方言

胳膊老肢 [kə^h lao tɕʰ], 胳膊老赤 [kə^h lo tɕʰ], 胳膊肢 [kə^h la tɕʰ], 胳膊洼 [kə^h lo va], 胳膊拉 [kə^h la tɕʰ], 胳膊拉撑子 [kə^h la tɕʰ ʃən tɕʰ]

胳膊肢窝 [kə^h la tɕʰ uo] (浙江·桐庐)

2. 南方方言

胳膊 [kə^h lak], 胳膊底 [kə^h lət tai], 胳膊落底 [kə^h lək tai], 胳膊下 [kə^h la tɕʰ uo], 夹辣作 [kə^h la tɕʰ soʔ], □□□ [ku lu xa]

无中生有的变化(無から有が生まれる)

1. “**胳肢**”の語源はたぶん“**觸肢**”(to tickle)
2. “**胳肢**” > “**胳lè肢**” Infix[lè^{轻声}]の挿入
cf. 三人 三個人 我書>我的書
3. 変化の音声的条件
 - ・第二音節の弱化(“**強弱**” trochaic)
 - ・弱音節を含む語は他の語形の音声的牽引を受けやすい。
4. 類推牽引(analogical attraction)
 - ・“**胳肢**”はinfix[lè]を含む他の語の牽引を受けた。
e.g. “**波羅盖**”、“**咯啞拜**”(膝)、“**額勒盖**”(額)
 - ・類推とも言えるが、infix[lè]を含む語は限定的。
5. 逆行変化(非轻声化)
 - 临沂(山东): 胳勒肢[kə lə^{轻声} tsʰ]
 - 永城(河南): 咯老肢[kɔ^{上声} lao tsʰ]
 - “老枝”などの牽引による

4. 語の衝突

混淆形 (word blend): 但し地理的に隣接して分布する語Aと語Bの接触による。

- 胳肢下[ku tsɿ a] (福建・建瓯)
- 肋胳肢下[ləʔ kəʔ tɿ fiə] (浙江・宁波)
- 胳肋肢窝[kəʔ ləʔ tɿ uo] (浙江・桐庐)
- 胳肋肢[kə lə tɿ] (安徽・休宁)

フランス北部方言と中国北部方言の平行性

ジリエロンが言った通り、もしバリのフランス語が、北部俚語の受けた種々の現象を、素直にそして雑多に取入れたとしたら、

- つぐみ 好む みつを ミツバチの中の ミツバチの巣
- *Merula amat mel apium in apiario.*
【つぐみは蜜ばちの巣の中のはち蜜を好む】
- というラテン語は、フランス標準語の
つぐみは 好む みつ の ミツバチの中の ミツバチの巣
- *Le merle aime le miel des abeilles dans la ruche*
という風に明快に翻訳されずに
- 黒い 母親は もつ 高価に 涙を の くまばち なかに はえ
- *La noire mere a cher la larme des guepes dans la mouche*
【黒い母親ははえの中にくまばちの涙を高価にもつ】

- Albert Dauzat, 1922
La géographie linguistique
松原秀治、横山紀伊子共訳
《フランス言語地理学》, 大学書林, 1958